



学校保健委員会だより



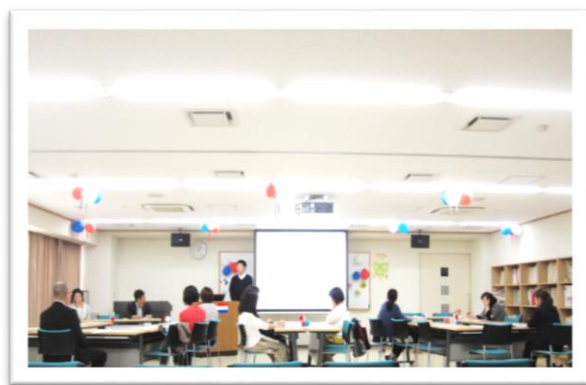
保護者の方にご参加いただき、学校保健委員会を、10月26日(金)に開催いたしました。

今回は、給食と保健の概要説明を教頭、養護教諭よりお伝えし、今年度より学校医として着任されたそら内科クリニック院長遠藤光洋先生をお招きして、三室地域の医療の現状と課題やさいたま市の医療の現状についてお話しいただきました。後半は大宮パレスホテル毛塚シェフより“食”について考えることの大切さをお話しいただきました。

また、学校歯科医の矢尾喜三郎先生にもご参加いただき、子どもたちの摂食の様子を実際に参観していただきました。

さくら草特別支援学校 学校医 遠藤 光洋先生 講話

- 経歴…他県で在宅医療を7年ほど携わった後、2013年よりそら内科クリニック開業。
- 重度心身障害児の医療の課題点…医療の質に地域差が大きい。その差を縮めることが重要。
- 小児から内科(成人)への切り替えが難しいため、様々な関係機関と連携を図りながら行っていた方がよい。
- 何かあったら地域の医療機関として、学校医としてできる限り寄り添っていききたい。相談はいつでも受ける。



大宮パレスホテル 毛塚シェフ 講演

- 本校の実態にあわせた食、“おいしい食事”を提供する環境づくりが大切。
- ぜひ積極的に外食を。飲食店も異なる食形態や再調理に関してまだまだ知識不足の店が多いため、積極的にお子さんと外食をしていただいて、さまざまな業態の飲食店の経験値を増やすことに貢献してほしい。パレスホテルにも食べに来てほしい。
- これからも学校という場において、食に携わる者として様々な取組を行っていききたい。